

備前市事務事業評価表

事務事業名	旧閑谷学校世界遺産登録推進事業	コード	03-03-02-02
		担当課・係	生涯学習課 文化係
		担当者	福本浩子
事業実施期間	平成17年度～	電話	0869-64-1841
総合計画 事業（政策）体系	大項目(基本目標)	地域文化と人が輝くまちづくり	
	中項目(基本施策)	歴史と文化の輝くまちづくり	
	小項目(施策)	旧閑谷学校世界遺産登録の推進	

事業について	
目的 (何のために)	閑谷学校の建造物とその創学の精神を受け継ぎ、未来の世代へ継承するために世界遺産への登録をめざす。
対象 (誰・何を対象に)	市民
内容	閑谷学校世界遺産登録推進委員会総会の開催 署名活動

事業の結果			
実施項目	17年度 回数など (単位)	18年度 回数など (単位)	回数など (単位)
総会参加者数	47 人	51 人	
署名件数	108,975 件	116,648 件	

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源				
	直接事業費	10	国庫補助金等		直接事業費	10	国庫補助金等				
	人件費	1,715	受益者負担		人件費	1,705	受益者負担				
		市債				市債					
合計	1,725	一般財源等	1,725	合計	1,715	一般財源等	1,715	合計	0	一般財源等	0

必要人員	0.20 人	0.20 人	
結果指標	結果指標名	総会・講演会参加者数	総会・講演会参加者数
	結果指標量	47	51
	単位	人	人
	対前年比	-	108.51%
	活動にかかるコスト	1,725,000 円	1,715,000 円
	単位当たりコスト	36,702 円	33,627 円
結果指標	結果指標名	署名件数	署名件数
	結果指標量	108,975	116,648
	単位	人	人
	対前年比	-	107.04%
	活動にかかるコスト	1,725,000 円	1,715,000 円
	単位当たりコスト	16 円	15 円

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	閑谷学校を世界遺産登録申請について、市民の理解と協力を得、郷土の誇れる文化財を守っていく市民の認識を高める。		
成果指標名	総会・講演会参加者数	式又は説明	総会・講演会参加者数
	17年度	18年度	
成果指標量	47	51	
対前年比	-	108.51%	0.00%
到達目標値	100	到達目標年度	平成25年度

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成18年度事業)		
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である (関係法令等： <input type="checkbox"/>)	妥当性評価<A~E>	D
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	課題認識	旧閑谷学校の世界遺産登録を目指すことを目的として立ち上げられた事業ではあるが、世界遺産登録は年々厳しくなっており、現在のまま署名活動を中心に事業を進めていくか検討が必要である。
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である		
市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である			
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	効率性評価<A~E>	C
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input checked="" type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	課題認識	事業費は、補助金と人件費だけである。今後本格的に世界遺産登録に向け整備を進めるなら、管理計画等を作成し、周辺の整備を行っていかねばならない。そのためには、コストは増加する。また、暫定一覧表へ記載されたとしても世界遺産登録までに10年程かかる。
	職場の効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい		
目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価<A~E>		
有効性の評価	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	課題認識	
	市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている		

平成19年度の状況		説明		
<input type="checkbox"/> 重点化している <input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input checked="" type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input checked="" type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	引き続き講演会等を開催しながら、市民の理解と協力を得る。また、岡山県や他の市町村とも協議を行い、今度どのように運動を進めていくべきか検討している。		
目標値	結果指標量	60	結果指標量	130,000
	成果指標量	60		

総合評価	世界遺産登録については、年々審査が厳しくなっている。特に単体での登録は難しいのが現状である。今後も署名を中心に活動を進めていくか、方向性を考えていくか検討も必要になってくる。また、平成18年度から文化庁は世界遺産暫定一覧表への追加登録について提案書の募集を開始、平成19年度も引き続き募集がある。これは都道府県と地方公共団体が共同で作成し提出するものであるため、市としても登録に向けての姿勢を示し、県や関係市町村と協議していく必要がある。	評価区分 <A~E>	C
------	---	---------------	---

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了
--------------	---	--	---------------------------------------

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
妥当性	事業の方向性や取り組みの見直し	平成20年	世界遺産に向けた取り組みについてはっきりした方向性を示すことができる。